



ドイツのスポーツ少年団と交流

ドイツのスポーツ少年団員 8 名が志布志市を表敬訪問し、2 名が志布志市にホームステイしました。

8 月 5 日から 7 日まで、16 歳と 17 歳の女性 2 名が、脇田和美さん宅（有明町野井倉）にホームステイしました。ホームステイ初日は、バーベキューや花火で歓迎され、翌日は市内を観光しました。また、泳ぎの好きな 2 人は B & G のプールで泳ぐなど、短い滞在期間ではありましたが志布志の夏を楽しみました。



山形県酒田市の児童と交流

マリネジャー体験などを通して、互いの友情を深め、思い出に残る夏の交流となりました。

8 月 5 日から 8 日まで、平成 6 年から続き 23 回目となる山形県酒田市との相互交流事業が行われ、酒田市から 10 名の児童が志布志市を訪れました。本市からも 10 名の児童が参加し、「酒田市の友だちと志布志市の良さを発見できてよかった。1 月に山形に行くのが楽しみ」と感想を話しました。

親子で一緒に学習しました

親子でめぐる志布志の歴史バスツアーが開催され小学生と保護者が志布志の歴史を学びました。

7 月 31 日、市埋蔵文化財センターや市内の各地に残る文化遺産を見学しながら、志布志の歴史を楽しく学びました。参加した保護者は「夏休みに、親子で志布志の歴史を勉強できてよかった。私も知らないことが多かったので、もっと親子で志布志の歴史を知ってきたい。」と話しました。



ボート競技の国体出場を決めました

国体九州ブロック大会の少年男子舵手付カヌーダブルで優勝しました。

7 月 16 日と 17 日、宇都中学校出身で鹿屋工業高校 3 年の草場健太さんと新川洋輔さんが、宮崎県で開催された国体九州ブロック大会に鹿児島県選抜チームの一員として出場し、見事優勝しました。鹿児島県選抜チームは、10 月 6 日から 9 日に行われる岩手国体に出場します。



南日本経済賞を受賞しました

株式会社さかうえ（坂上隆社長）が第 11 回南日本経済賞（南日本新聞主催）を受賞しました。

8 月 22 日、坂上社長が市長室を訪れ受賞を報告しました。南日本経済賞は、地域振興、先進性、将来性などにより評価し、県内で 3 社が受賞しました。

同社は、IT（情報技術）を利用した農産物の生産管理システムを独自に開発するほか、耕作放棄地の利用や就農者の育成にも力を入れています。



ぽっぽマルシェが開催されました

志布志駅においてぽっぽマルシェが開催され多くの来場客にぎわいました。

8 月 7 日、市内外からカフェや雑貨店など 23 店舗が出店し、フラやキッズダンス、バンド演奏なども行われました。また、7 月 18 日には宮崎市のフローランテ宮崎にぽっぽマルシェを出店し PR 活動を行っています。ぽっぽマルシェは 10 月以降も偶数月の第 1 日曜日に開催されます。

サイエンスショーを楽しみました

柳田理科雄先生によるサイエンスショーを開催しました。

8 月 7 日、市文化会館で柳田理科雄サイエンスショーが開催されました。講話では、有名なアニメを題材にし、科学的に分かりやすく解説しました。また、ドライアイスを使った実験コーナーでは、ドライアイスの説明やロケット作成を行いました。来場者も参加し、大いに盛り上がりました。



よむのび教室が開催されました

「よみとく力を身につけよう！」と南日本新聞「よむのび教室」出前講座を開催しました。

8 月 2 日と 3 日、志ふれあい交流館において開催された同教室に小、中学生 51 人が参加しました。新聞の歴史や写真の撮り方、見出しの付け方、各家庭に新聞が届く流れなどを学びました。また、小学生は新聞を使ったはがき新聞に挑戦し、中学生は気になる記事を切り抜きそれぞれ発表しました。





高 ～いかき氷できたよ！日本一！

志布志まちづくり公社が日本一高いかき氷作りに挑戦し、見事日本一を達成しました。

8月28日、サンポートしぶしアピアでかき氷作りが行われ、親子連れなど約160人が参加しました。638kgの氷を10台のかき氷機で削り、1時間10分かけて高さ2.8mまで積み上げました。記録達成後、参加者には志布志産のお茶やいちごを使ったシロップをかけたかき氷が振る舞われました。



空 手の全国大会で優勝！日本一！

第32回全日本硬式空手道選手権大会の幼児の部で優勝、小学1年生の部で準優勝しました。

8月21日、東京都国立代々木競技場第2体育館で行われた同大会に空手道成武館（黒石清美館長）の小玉武蔵さんと虎次郎くん兄弟が出場しました。武蔵君が小学1年生の部で準優勝し、虎次郎君が幼児の部で優勝と兄弟そろって好成績を収める快挙となりました。

国 土交通大臣表彰を受賞

10年以上にわたり道路のごみ拾いや清掃を行った、道路愛護等に関する功績が表彰されました。

8月31日、大隅地域振興局において伝達式があり、森幸子さん（志布志町帖）と坂元俊幸さん、静香さんご夫婦（志布志町志布志）が受賞しました。国土交通省が毎年8月の「道路ふれあい月間」に、道路愛護等に関し功績が特に顕著な個人、団体を表彰しており、鹿児島県で他に1団体が受賞しました。



平 和への思いを折鶴に込めて

伊崎小学校の児童80名が平和を祈って千羽鶴を折り、有明町戦没者慰霊塔に献納しました。

8月10日、同小学校の児童を代表して6年生の野村大和さん、伊崎愛花さんの二人が千羽鶴を献納しました。また平和についての作文を読み上げ「戦争の悲惨さ、戦争は絶対にしてはいけないことを未来まで伝えていきたい」と誓いました。平成15年から行われるこの取組は今年で14回目を迎えます。



上手に歯みがき！
むし歯も処置歯も無かった子どもたちです！
続きは39ページに掲載しています。

8月に行われた5歳児歯科検診で、むし歯も処置歯も無かった子どもたちです！
続きは39ページに掲載しています。

まな 愛菜 ちゃん
りゅうしん 龍清 ちゃん
なつき 夏希 ちゃん
こうせい 功盛 ちゃん
やまひろ 靖大 ちゃん
はる 悠 ちゃん
かれん 果怜 ちゃん
たいき 大樹 ちゃん
まこと 誠人 ちゃん
ゆい ちゃん
みちか 美千華 ちゃん

安 心・安全に向け連携を強化

市と志布志警察署が暴力団排除措置と災害時の施設使用に関する協定を締結しました。

8月22日、市役所本庁で調印式が行われました。協定により、市が行う様々な暴力団排除措置及び支援に関して警察署と連携し、より一層強化が図られます。また、大津波等により志布志警察署が被災した場合、市の施設の一部を警察庁舎として使用することで、警察機能の持続、情報共有が図られます。



商 店街に子ども食堂オープン

学校給食のない夏休み期間中の毎週金曜日、ボランティアによる子ども食堂が開かれました。

ふるさと大使の田浦天志さんの呼びかけで集まったボランティアの皆さんが、市内の業者から提供を受けた食材等を利用したカレーライスなどを低料金で提供しました。井や和華（志布志町）とS.O.L（多機能型情報発信拠点）で計5日間開店し、延べ260人がカレーや様々なトッピングを楽しみました。

